

## 中部大2回戦敗退

全日本女子学生剣道 中京大など初戦で涙

第35回全日本女子学  
生剣道優勝大会（全日  
本学生剣道連盟、毎日  
中部大は初戦の明星  
大戦、1-1で迎えた  
副将戦で和田恵里選手  
（4年）が後半メンを  
決めて逃げ切った。2  
回戦の福島大戦では次

鋒、小島貞世選手（1年）がメソ2本で快勝したが及ばなかつた。大将の新美伶奈選手（4年）は「正々堂々と技を打つ本校の伝統を守れたと思います」と総括した。

中京大の前田恵里王  
将（同）は「残り1分  
の粘りが足りなかっ  
た」と悔しそう。愛知  
学院大の中村有里王将  
（同）は「自分たちの  
戦いができなかつた」、

(3年)は「信頼できる大将がいるので、楽しんで思いっきり戦えた」とコマを進めた。法政大との準々決勝は、試合開始直後に相手の逆ドウが決まり、苦しい展開に。この日

日本人の心に根ざす。と励ました。【花谷  
練習の成果を見せて】人、長谷部光子】

春日井市鷹来町の市総合体育館で行われ、愛知、岐阜県の出場5校は岐阜の朝日大がベスト8入りを果たした。

A dynamic kendo match is captured in mid-action on a wooden floor. Two fighters, wearing dark blue protective uniforms (bogu) and black hachimaki headbands, are engaged in combat. The fighter on the left, with a white and black patterned helmet (kabuto), has his right hand raised in a strike. The fighter on the right, with a solid black helmet, is in a defensive stance, holding his long wooden bokken (shinai) vertically. A bright spark or contact point is visible between their blades. In the background, spectators in dark suits watch from the stands, and a referee in a black suit stands near the center. The scene is lit by overhead stadium lights.



中京大の前田恵里王（3年）は「信頼できる将（同）は「残り1分の粘りが足りなかつた」と悔しそう。愛知学院大の中村有里主将（同）は「自分たちの戦いができなかつた」、愛知教育大の大庭綾奈主将（同）は「若手が頑張ってくれたのが収穫です」と振り返った。シードの朝日大は初戦（2回戦）で関東学院大に3-1、3回戦の平成国際大に3-1と快勝した。先鋒の大村美星選手（3年）の動きが良く、先制して有利に試合を進めた。大将の今村舞選手（4年）は安定した実力を発揮。3回戦・中堅で2本勝ちした勝部真菜選手は、試合開始直後に相手の逆ドウが決まり、苦しい展開に。この日初めて登場した鍋島奈海選手（4年）が2敗で迎えた中堅戦で「とにかく、一本取る」と攻め続け、終盤に意地のメンを決めた。続く副将、大将が引き分け、1-2で惜敗した。開会式では佐藤成明全日本学生剣道連盟副会長が「理にかない、強く、美しい剣道を」とあいさつした。大石社代表室長は「剣道は法政大との準々決勝は、試合開始直後に相手の逆ドウが決まり、苦しい展開に。この日初めて登場した鍋島奈海選手（4年）が2敗で迎えた中堅戦で「とにかく、一本取る」と攻め続け、終盤に意地のメンを決めた。続く副将、大将が引き分け、1-2で惜敗した。開会式では佐藤成明全日本学生剣道連盟副会長が「理にかない、強く、美しい剣道を」とあいさつした。大石社代表室長は「剣道は大将がいるので、楽しんで思いっきり戦えた」とコマを進めた。